

# みなとオアシス 大坂城残石記念公園

みなとオアシス大坂城残石記念公園



みなとオアシス大坂城残石記念公園への交通

小豆島バス/福田線(土庄港~福田港『小海停留所』下車5分)  
お車で/土庄港から20分、大坂港から8分、福田港から25分  
坂手港から50分、草壁港から45分、池田港から30分



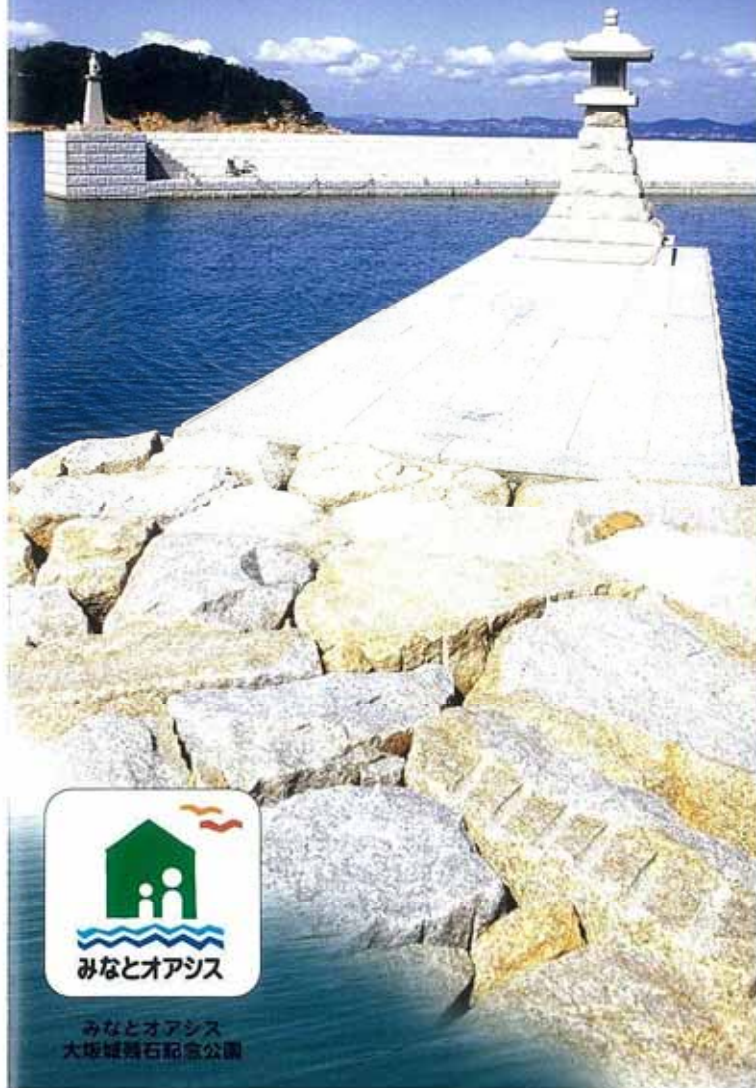
お問い合わせ

## みなとオアシス 大坂城残石記念公園

〒761-4144 香川県小豆郡土庄町小海甲909番地1  
TEL0879-65-2865 FAX0879-65-2865



みなとオアシス  
大坂城残石記念公園



教えて!

## みなとオアシス

四国の「みなと」は、古くから地域の拠点として発展してきました。今再び、地域活性化のために「みなと」の新しい魅力づくりが始まっています。「みなとづくり」と「まちづくり」を連携させた、住民参加型の「みなとまちづくり」、その拠点となるのが「みなとオアシス」です。

「みなとオアシス」とは、海浜・旅客ターミナル・広場などみなとの施設やスペースを活用して住民参加型の継続的な地域振興に係わる取り組みを行い、地域内外の人々が交流することができる「にぎわい交流拠点」をつくり出すものです。

港・海辺をにぎわいの核として、さらに地域の活性化にも寄与しうる拠点及び空間として、積極的な活用を位置付ける制度です。平成15年11月20日に、中国地方整備局、四国地方整備局が制度化したもので、各整備局長が登録し、各種の公的な支援を行うものとなっています。

## 基本的な考え方

### 1 港と海を地域活性化に活かす

港湾や海岸の施設、空間、景観を、地域住民と来訪者の憩いや交流の場として活用することを通じて、地域ににぎわいを創出し、地域活性化に寄与することをめざします。このため、港湾区域だけでなく背後地を含めた幅広い検討が必要です。

### 2 住民参加のもとで実現・運営する

みなとオアシスは、港湾・海岸を誰でも気軽に利用できる交流の場にするものです。このため、検討の段階から住民の声を積極的に採り入れ、住民自身が実現化に尽力するなど、住民参加のもとで取り組むことが必要です。

### 3 既存の施設や事業を有機的に結びつけ、有効活用する

できるかぎり今ある施設や空間、整備中の施設を創意工夫して活用するとともに、背後地の資源との有機的連携を図ることが重要です。また、既存のソフト事業(イベントや活動など)もみなとオアシスの事業に位置付けることで、相乗効果での交流人口増加が期待できます。

### 4 地域の個性を活かす

港と地域の歴史や文化、背後地の資源など、地域ならではの特徴を活かした個性豊かな交流の場をつくります。そのためにも、住民のニーズやアイデアを反映するとともに、地域でのさまざまな活動と連携することが重要です。



# みなとオアシス 大坂城残石記念公園

## 400年の昔へタイムスリップ

時は、1583年。石山本願寺跡に豊臣秀吉によって築かれた石垣作りの大坂城。日本最大の城で「天下無双」と謳われ、その勇姿を今に讀えています。



現在の大坂城は、1620年より10年がかりで大改修を行い、石垣には、ここ小豆島から切り出された巨石が数多く使われています。

なぜ、小豆島から運ばれたのでしょうか…。小豆島には採石しやすい山麓に良質の花崗岩が多数露出しており、重量がある石材の輸送には海上輸送のほうが容易であったからと言われています。こうして巨石たちは、小豆



大坂城築城のロマンはここから始まる。



島を離れ美しい瀬戸内海を大坂へと渡っていきました。

しかし、切り出されながらも積み出されずに残った巨石が島のあちらこちらに残されています。のちに、この巨石は「残念石」「残石」と呼ばれるようになりました。

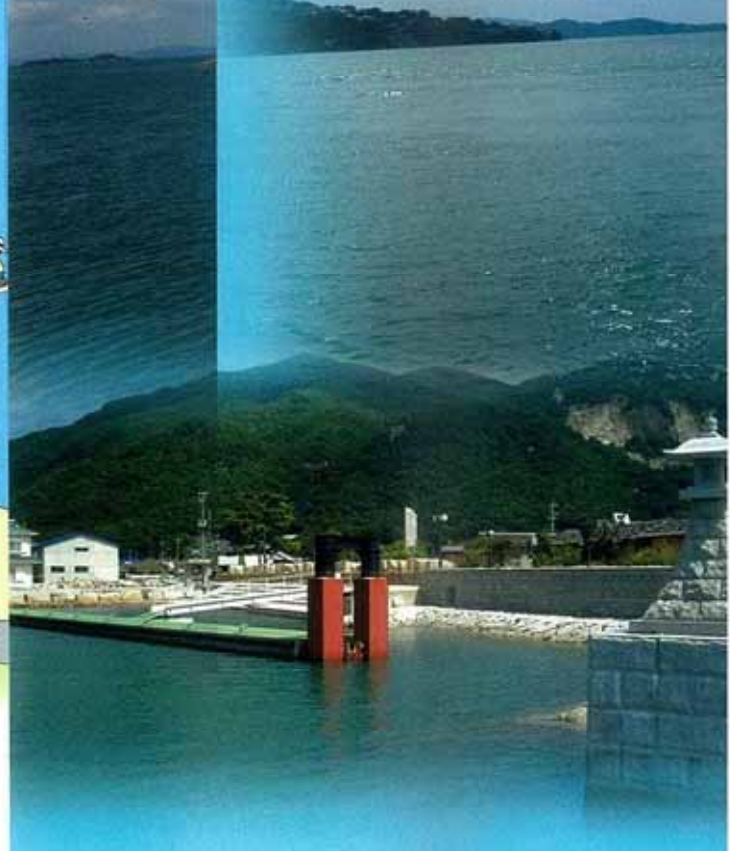
ここ“みなとオアシス 大坂城残石記念公園”では、港に並び自分の運び出される順番を今か今かと待っている「残石」を見ることができます。当時の刻印をまとい、400年の昔に夢みた大坂城に思いを馳せながら、今日も静かにたたずんでいます。

# みなとオアシス

「みなと」は、古くから地域の拠点として、くらし・産業を支え、特色ある歴史・文化を育んできました。今、にぎわいの創出や地域に関する情報提供など、地域の魅力づくりに貢献できる「みなと」づくりがますます求められています。

こうした中、みなとづくりとまちづくりを連携させた、住民参加型の「みなとまちづくり」という取り組みが各地で進められています。

四国地方整備局でも、市町村及び住民の皆さんが「みなと」を地域交流の拠点として活用できる「みなとオアシス」制度を立ち上げました。





## みなとオアシス 大坂城残石記念公園



## 北浦港 KITAURAKO

### 石と歴史のふるさと

北浦港は小豆島の北西部に位置し、古くは歴史文化の中心として栄え、瀬戸内海の要衝として交易の中心でした。

現在では、みなとオアシス大坂城残石記念公園として、ポートパークや公園広場、休憩場、情報コーナー、資料館などの複合型にぎわい創出エリアとなっています。特に歴史的価値の高い残石群を後世に伝えていくための資料展示・復元施設があり、見る人を過去の世界へといざないます。また、住民参加型「みなとまちづくり」としてのイベントも定期的に行われています。

楽しみ方はいろいろ。海からはクルージングがてらに、陸からはドライブがてらにと、誰もが気軽に立ち寄ることができます。石と歴史のふるさと、みなとオアシス大坂城残石記念公園で石と触れあいロマンを感じてみてはいかがでしょうか。

### 大坂城残石資料館 ～石の歴史・文化を後世に伝承～



石の加工風景や行程の展示



資料館



残石を運んご復元

### 利用案内

■開園時間／午前9時～午後5時(入園は午後4時30分まで) ■休園日／12月29日～1月3日 ■入園料／無料



四百年もの昔、小豆島から切り出された巨石ははるばる海を越え大坂城へと運ばれた



ボート・パーク～瀬戸内・海的路をクルージング～



ビジター用棧橋

北浦港は、ビジター用の棧橋があり、プレジャーボートなどでの来訪も可能です。

※事前予約で満隻となっている場合、お断りさせて頂くことがあります。

施設概要

浮棧橋：1基 (L=40m)  
水深：2.5m (喫水0.7m)

ビジター用棧橋使用料

単価：円

係船料(不定期船)	1係留(24時まで) 1トンにつき	3.23
棧橋使用料	大人1人につき	3.92
	小人1人につき	1.96
	貨物1トンにつき	3.23

※円未満切捨て

※小人は4歳以上12歳以下

イベント～地域の魅力を再発見～

残石ふるさと市

◆春と秋の年2回

内容 軽音楽ライブ 太鼓演奏  
もちつき  
旬の野菜・魚介などの  
産直市

産直市

◆毎月第1日曜日

内容 新鮮野菜などの産直市



もちつき



野菜・魚介などの販売



太鼓演奏



石の特産品



売店コーナー



管理棟(受付・売店)



軽食コーナー